

丹波黒大豆用刈取機で楽々収穫 (メーカーと共同開発)

【背景・目的・成果】中腰で2～4時間/10aもかかる重労働の刈取り作業を、軽労化かつ効率化したい。刈取機がメーカーと共同開発でき、発売されることとなりました。

- 型式名「KMK-1」
- 枝豆、子実の2シーズン利用
- 高うねにも対応



【特徴】

クローラ式で軟弱ほ場でも対応可
10a当たり0.5～1時間で刈取り
デバイダ調整で刈残しなし
落莢損失は1%台とわずか
1畦1条・うね幅80cm以上対応

これまでの作業方法



太枝切りはさみ・草刈機

開発機によれば人力の3～10倍の能率。

2名作業で10株程度ずつまとめる方式や、1名では場乾燥用に刈倒す方式が、この刈取機使用法。



枝豆の刈取



刈倒しができる



束ね用の刈取



地中10cmで切断



ほ場で予備乾燥



束ねて搬出・乾燥機へ

【技術の活用】 営農組織や大規模栽培者に好適です。効率よく刈取りできることで、枝豆出荷や莢乾燥など、あと作業がはかどります。